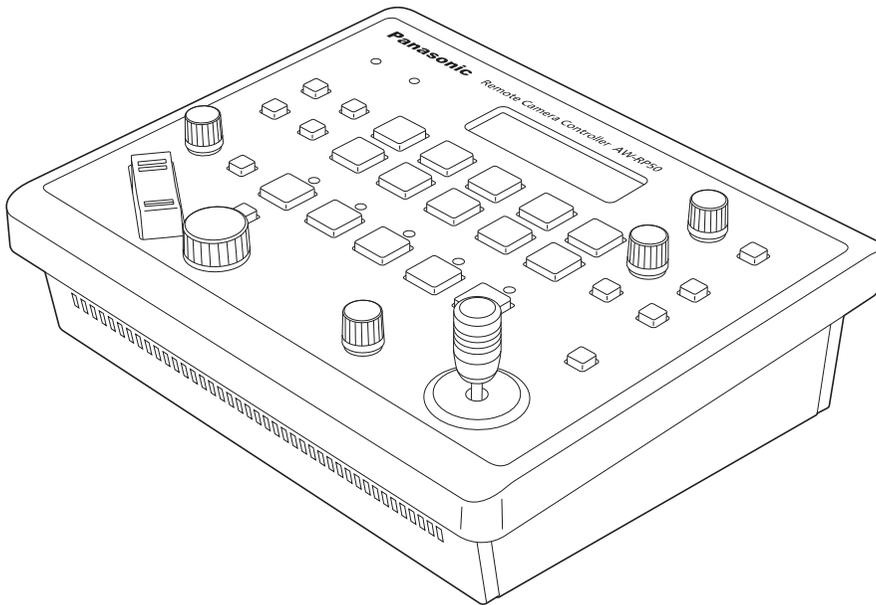


取扱説明書 基本編

リモートカメラコントローラー

品番 **AW-RP50**



基本編 取扱説明書

詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 操作・設定編 (PDF) を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

もくじ

安全上のご注意.....	3	ネットワークの設定を行う.....	19
はじめに.....	6	本機の設定.....	19
概要.....	6	接 続	21
商標および登録商標について.....	6	IP 接続例.....	21
著作権について.....	6	シリアル接続例.....	22
定格表示について.....	6	リモートカメラとの接続設定.....	25
免責について.....	6	カメラのダイレクト接続制御.....	26
ネットワークに関するお願い.....	6	自動で IP アドレスを設定する (自動 IP 設定).....	26
特 長	7	本機が管理しているカメラ番号の IP アドレスを 変更する.....	33
対応する回転台とカメラ	8	カメラ番号を変更する.....	34
付属品	8	スイッチャーの IP アドレスを変更する.....	34
必要な PC の環境	8	IP アドレスの管理テーブルを削除する.....	34
設置上のご注意	9	操作するリモートカメラを選択する	35
使用上のごお願い	11	外形寸法図	36
各部の名前とはたらき	12	定 格	37
制御パネル部.....	12	保証とアフターサービス	38
背面部.....	16		
本機の基本操作	17		
メニューの基本操作	18		

取扱説明書の構成について

- 本機の取扱説明書は、基本編（本書）と操作・設定編（PDF ファイル）に分かれています。本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では、設置のしかたとネットワークの接続・設定のしかたについて説明しています。本機の操作や設定のしかたは、Web サイトに掲載されている「取扱説明書 操作・設定編」（PDF ファイル）をお読みください。（<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>）PDF ファイルをお読みになる場合には、アドビシステムズ社の Adobe® Reader® が必要です。
- 本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載	機器の品番	本書での記載
AW-HS50	AW-HS50	AW-E860N	AW-E860
AW-HE50HN	AW-HE50	AW-PH360N	AW-PH360
AW-HE50SN	AW-HE50	AW-PH400	AW-PH400
AW-HE100N	AW-HE100	AW-PH405N	AW-PH405
AW-HE870N	AW-HE870	AW-PH650N	AW-PH650
AW-E350	AW-E350	AW-IF400G	AW-IF400
AW-E650	AW-E650	AK-HC1500G	AK-HC1500
AW-E750	AW-E750	AK-HC1800G	AK-HC1800

- 本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「回転台とカメラの組み合わせ」、または「回転台一体型カメラ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

 電源プラグ を抜く	<p>■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く</p> <p>【内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき】</p> <p>(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)</p> <p>⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。</p> <p>⇒ 販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない</p> <p>(落雷すると、感電につながります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない</p> <p>(火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)</p> <p>⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない</p> <p>(火災・感電の原因になります。)</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

警告 (つづき)

	■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災や感電の原因になります。) ⇒雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。
	■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。
	■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)

ACアダプターは…

	■ 電源コード・プラグを破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
	■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない ■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない (感電・火災の原因になります。) ⇒コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
■ 不安定な場所に設置しない (落下や転倒によるけがや事故の原因になります。)	
 ぬれ手禁止	■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電・火災の原因になります。)
	■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。
	■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない 〔押し入れや本箱など、狭いところに入れず、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない〕 (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルなどは引っ張らない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒点検は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 病院内では、病院の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検(1年に1回をめやすに)をお願いします。

はじめに

■概要

本機は、リモートカメラ（回転台一体型カメラ）および回転台システム（回転台と回転台に取り付けられたカメラ）を制御するコントローラーです。

IP接続により、HDインテグレートッドカメラAW-HE50、コンパクトライブスイッチャーAW-HS50と連携した操作環境を実現します。

IP接続の場合、最大100台までのリモートカメラを制御することができます。

シリアル接続の場合は、最大5台までのリモートカメラおよび回転台システムを制御することができます。

■商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■定格表示について

本機の名称、品番、電気定格は、底面に表示されています。

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧本体やPCに保存された設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
 - ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
 - ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止
- このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。
- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
 - PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
 - 公衆回線を利用した接続はしない。

特 長

コンパクト設計

- 横幅：ハーフラックサイズ (210 mm)、奥行：4RUサイズ (177 mm) のコンパクト設計です。コンパクトライブスイッチャー AW-HS50 (別売品) と同一サイズで、本機と横に並べて配置すると、フルラック幅に収まります。

IP接続とシリアル接続に対応

IP接続

- ネットワークハブ (スイッチングハブ) を介して最大100台までのリモートカメラ^(※1)を制御することができます。
- 本機の自動IP設定機能で、リモートカメラ^(※1)やスイッチャー^(※2)のIPアドレスを自動的に割り付けて制御可能にします。

※1：対応カメラ : AW-HE50

※2：対応スイッチャー : AW-HS50

- 同一のネットワークに本機を最大5台まで接続することができ、同時にリモートカメラを制御することができます。
- Webサイトからダウンロードするセットアップソフトウェア (Setup Software) を使って、PCから本機を経由してリモートカメラやスイッチャーのIPアドレスを設定することができます。

シリアル接続

- 最大5台までのリモートカメラ、または回転台システムを制御することができます。

カメラを簡単操作

- 本機からカメラのパン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリスの操作を簡単に行うことができます。
- 本機のLCDメニューから、カメラのゲイン、シャッター、ディテール、ホワイトバランス、ブラックバランスの調整を行うことができます。(接続するカメラによって、調整項目や範囲が異なります。)

回転台のプリセットメモリーを簡単操作

- 回転台のプリセットメモリーを最大100個まで登録し、呼び出すことができます。

IP接続によるスイッチャーとの連携機能

- IPで接続された本機と1台のコンパクトライブスイッチャー AW-HS50をリンクさせることにより、効率の良い操作環境を実現します。

カメラ情報表示

- 本機が取得したカメラ設定情報 (アイリス、ゲインなど) を、スイッチャーから出力されるAUX映像やマルチビューディスプレイの分割画面に表示することができます。

タリー情報取得

- スwitchャーのON AIRタリー情報を取得し、パネル上のタリーランプ (CAMERA STATUS/SELECTION ボタン上部のランプ) を点灯します。

バス素材の選択

- 本機から、スイッチャーのバス素材を選択することができます。CAMERA STATUS/SELECTION ボタンを押すことで、バス素材を切り替えることができます。

制御バス対象 : AUX、PVW、PinP、KEY-F

また、ボタン操作のワンアクションで、スイッチャーのマルチビュー画面をカメラ映像のフル画面に切り替えることができます (フォーカスアシスト機能)。

制御バス対象 : AUX

パラメーターの変更

- 本機のPAN/TILTレバーやZOOMボタンで、PinPの位置などスイッチャーのパラメーターを変更することができます。

対応する回転台とカメラ

■ 対応するリモートカメラ (回転台一体型カメラ)

AW-HE100、AW-HE50

■ 対応する回転台

AW-PH360、AW-PH405、AW-PH650、AW-PH400 (AW-IF400が必要です)

■ 対応するカメラ (対応する回転台との組み合わせが必要)

AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800

ご注意

- 使用する前に、必ず可動範囲 (リミッター) の設定を行ってください。
- 本機とリモートカメラまたは回転台システムをシリアル接続した場合には、最大 1000 m まで延長できます。

本書では、特定した機器を示す場合を除いて、「回転台とカメラの組み合わせ」、または「回転台一体型カメラ」のことを、総称して「リモートカメラ」と記載しています。

付属品

付属品をご確認ください。

ACアダプター 1 電源コード 1

必要な PC の環境

本機に対応するソフトウェアは、下記の条件を満たすホストコンピューターでご使用ください。

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上推奨
メモリー	Microsoft® Windows® XP : 512 MB以上推奨 Microsoft® Windows Vista®, Microsoft® Windows® 7 : 1 GB以上推奨
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX
画像表示機能	解像度 : 1024 × 768ピクセル以上 発色 : True Color (24 bit以上)
対応OS	Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows Vista®, Microsoft® Windows® 7
ハードディスク	50 MB以上の空き容量
その他	Adobe® Reader® (Webサイトに掲載されている取扱説明書を閲覧するため)

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで制作された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】をご参照してください。

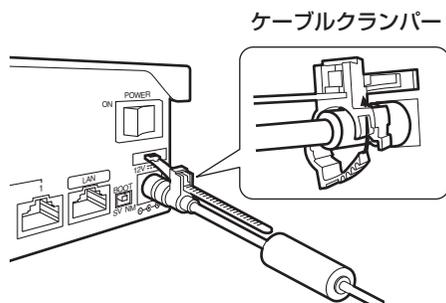
設置上のご注意

●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

本機を設置するときや接続工事を行うときは、必ず、販売店に依頼してください。

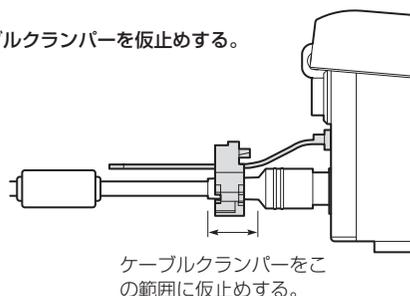
電源の接続について

- AC 100 V ~ 120 V で使用してください。
- 付属の電源コードと AC アダプターを必ず使用してください。
- 背面のグラウンド端子 (SIGNAL GND) は、システムのグラウンドに接続してください。
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- DC プラグの抜け防止のため、AC アダプターのケーブルは、ケーブルクランパーに取り付けてください。

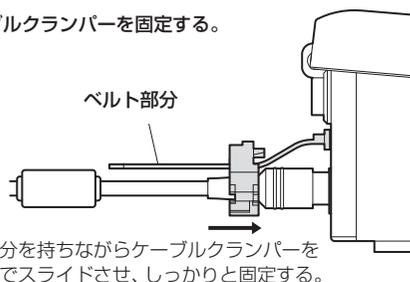


● DC プラグの固定方法 (側面図)

① ケーブルクランパーを仮止めする。



② ケーブルクランパーを固定する。



設置上のご注意

取り扱いはていねいに

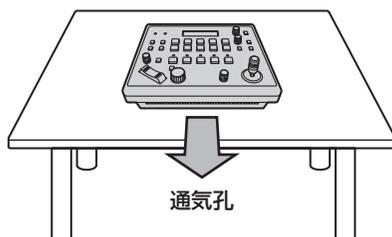
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 本機は、屋内専用の機器です。
- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 前面の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように 100 mm 以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 0℃以下の寒いところや、40℃以上の暑いところに設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



使用上のお願い

●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

取り扱いがていねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、PAN/TILTレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃以下の寒い所や40℃以上の暑い所では内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

消耗品について

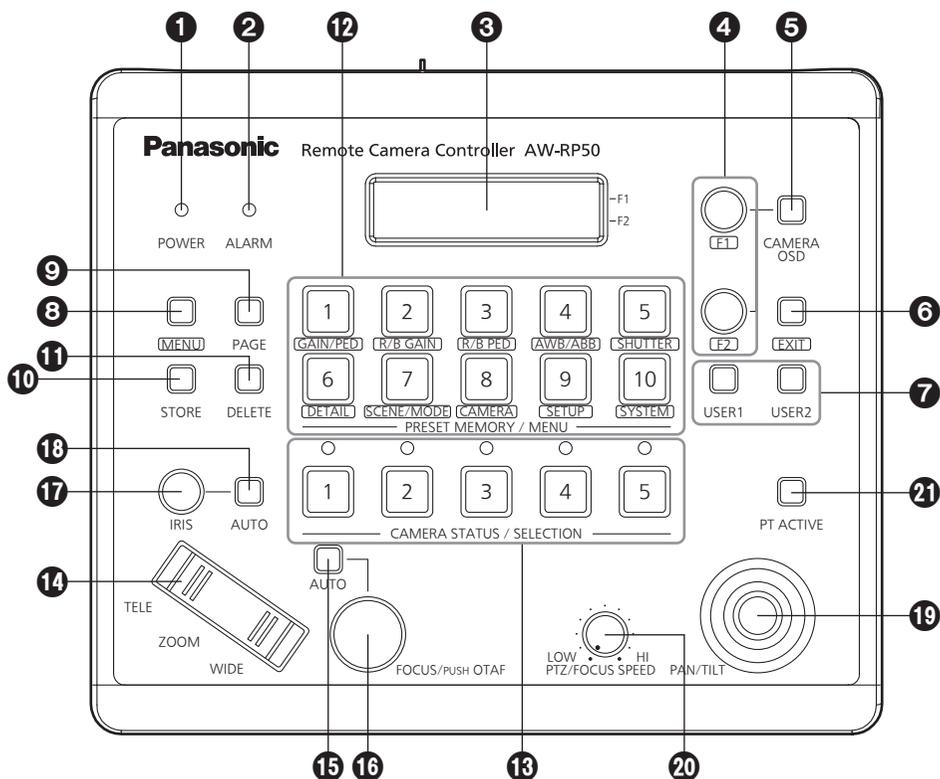
- ACアダプター：
ACアダプターは消耗品です。
約5年（1日に15時間使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換時期は、使用条件により異なります。

消耗品を交換する場合は、必ず、販売店に依頼してください。

各部の名前とはたらき

■制御パネル部



① POWER ランプ [POWER]

DC 電源入力端子に電源が入力されているときに、背面のPOWERスイッチ (22) をONにすると点灯します。

② ALARM ランプ [ALARM]

電源に異常 (電圧低下) があるときに点灯します。また、リモートカメラからアラーム (冷却ファンのアラーム、パン/チルトのエラー) を受信したときに点灯します。

⇒操作・設定編「機器のアラーム情報を確認する」参照

ALARM ランプが点灯した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。

そのまま使用すると、本機が故障する原因となることがあります。

アラーム情報は、TALLY/GPI端子 (25) から外部機器に出力することもできます。

③ LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

④ F1 ダイアル、F2 ダイアル [F1、F2]

メニューの値を変更するときに回して、決定するときに押します。

F1 ダイアルでLCDパネルの上段に表示している項目を操作し、F2ダイアルでは下段の項目を操作します。

リモートカメラのオンスクリーンディスプレイの表示内容や操作方法は、カメラの種類によって異なります。

⇒操作・設定編「選択したリモートカメラのメニューを操作する」参照

⑤ CAMERA OSD ボタン [CAMERA OSD]

CAMERA OSD ボタンを長押しするとボタンが点灯し、選択しているリモートカメラのオンスクリーンメニューがリモートカメラの出力映像に表示されます。

点灯中に再度CAMERA OSD ボタンを長押しするとメニューが消え、ボタンも消灯します。

各部の名前とはたらき

⑥ EXIT ボタン [EXIT]

メニューの操作で、1階層戻るときに押します。

⑦ USER ボタン [USER1、USER2]

メニューにある設定項目の一部の機能を、[USER1]、[USER2]にアサインして使用することができます。

⇒操作・設定編「USER ボタンの設定」参照

⑧ MENU ボタン [MENU]

PRESET MEMORY/MENU ボタン (12) でメニューを呼び出すときに押します。

点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯：メニューの操作が有効

消灯：メニューの操作が無効

⇒「メニューの基本操作」参照

⑨ PAGE ボタン [PAGE]

リモートカメラのプリセットメモリーを指定するときに押します。

PAGE ボタンを押すとボタンが点灯し、プリセットメモリーのページを選択するモードに入ります。

このモードでPRESET MEMORY/MENU ボタン (12) を押してページ番号を指定します。

次に、ページ内の番号をPRESET MEMORY/MENU ボタンで指定します

⇒操作・設定編「プリセットメモリーを設定、操作する」参照

⑩ STORE ボタン [STORE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを登録するときに押します。

点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯：プリセットメモリー登録モード

消灯：プリセットメモリー登録モード解除

⇒操作・設定編「プリセットメモリーを設定、操作する」参照

⑪ DELETE ボタン [DELETE]

現在選択されているリモートカメラのプリセットメモリーを削除するときに押します。

点灯中に再度押すとメニューが消え、ボタンも消灯します。

点灯：プリセットメモリー削除モード

消灯：プリセットメモリー削除モード解除

⇒操作・設定編「プリセットメモリーを設定、操作する」参照

⑫ PRESET MEMORY/MENU ボタン [PRESET MEMORY/MENU]

プリセットメモリーを呼び出したり、メニューを呼び出します。

⑬ CAMERA STATUS/SELECTION ボタン [CAMERA STATUS/SELECTION]

5台までのリモートカメラを選択します。

点灯：選択状態

消灯：選択解除

メニューで100台までのリモートカメラを、1～20のグループに分けて登録し、制御することができます。

1～5ボタンに割り当てられたリモートカメラの状態を、ボタンの上にあるランプで判断することができます。

⇒「操作するリモートカメラを選択する」参照

⑭ ZOOM ボタン [ZOOM]

レンズのズームを調整します。

TELE 側を押す：望遠

WIDE 側を押す：広角

押し込み具合によって、ズーム動作のスピードが変わります。

各部の名前とはたらき

⑮ オートフォーカスボタン [AUTO]

フォーカス制御を自動でするときに押します。

点灯: オートフォーカス

消灯: マニュアルフォーカス

オートフォーカス中は、FOCUS/PUSH OTAFダイヤル (⑮) の操作が無効となります。

- リモートカメラにオートフォーカス機能がある場合に有効な機能です。

オートフォーカス機能がリモートカメラにない場合には、マニュアルフォーカス (消灯) の状態で使用してください。

- リモートカメラにエクステンダー機能が備わったレンズを使用している場合、ボタンを押すごとにエクステンダー機能も切り替わります。

点灯: エクステンダー機能が有効

消灯: エクステンダー機能が無効

(レンズのコントロールケーブルを回転台に接続する方法は、回転台の取扱説明書を参照してください。)

⑯ FOCUS/PUSH OTAFダイヤル [FOCUS/PUSH OTAF]

手動でフォーカス制御を行います。

時計方向に回す:

フォーカスが遠距離側に動く

反時計方向回す:

フォーカスが近距離側に動く

ダイヤルを押すと一時的にオートフォーカス動作をして焦点を合わせます。(OTAF)

オートフォーカス中(オートフォーカスボタン (⑮) が点灯しているとき) は、操作が無効となります。

OTAF: ワンタッチオートフォーカス

⑰ IRISダイヤル [IRIS]

手動でレンズ絞りを制御します。

時計方向に回す:

レンズ絞りが開く方向に動く

反時計方向回す:

レンズ絞りが閉じる方向に動く

長押しする:

レンズ絞りが閉じる

オートアイリス中(オートアイリスボタン (⑱) が点灯しているとき) は、操作が無効となります。

オートアイリスの収束レベル調整

本機がオートアイリスのモード(オートアイリスボタンが点灯) になっているとき、リモートカメラのオートアイリスの収束するレベルを本機のIRISダイヤルで調整することができます。

⑱ オートアイリスボタン [AUTO]

レンズ絞りの制御を自動でするときに押します。

点灯: オートアイリス

消灯: マニュアルアイリス

オートアイリス中は、アイリスダイヤル (⑰) の操作が無効となります。

⑲ PAN/TILTレバー [PAN/TILT]

リモートカメラの向きを制御します。

左右に倒す: 左右方向に動作

前後に倒す: 上下方向に動作

レバーを倒す角度により、動作スピードが変わります。

⑳ PTZ/FOCUS SPEEDダイヤル [PTZ/FOCUS SPEED]

リモートカメラの制御(パン、チルト、ズーム、フォーカス) 速度を調整します。

時計方向に回す: 高速で動く

反時計方向回す: 低速で動く

各部の名前とはたらき

②1 PT ACTIVE ボタン [PT ACTIVE]

PAN/TILT レバー操作の有効と無効を切り替えるときに長押しします。

点灯、または点滅：

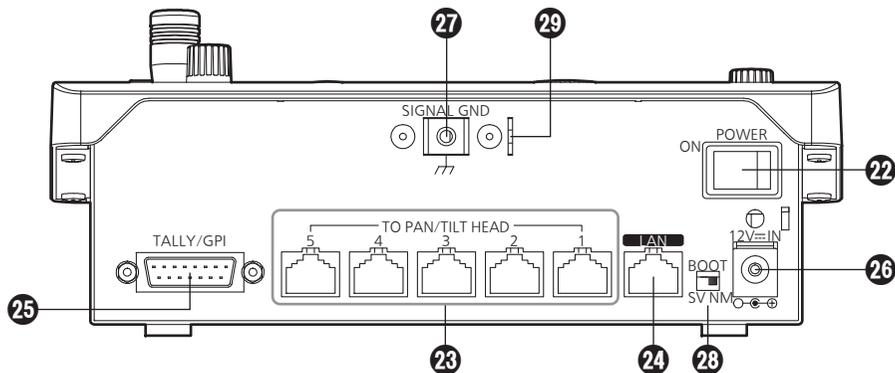
PAN/TILT レバーの操作が有効

消灯： PAN/TILT レバーの操作が無効

- メニュー操作 ([SETUP]メニュー → [OPERATE] → [PT ACTIVE]項目) で「P/T/Z/F」に設定しているときは、PAN/TILT レバーに加え、ZOOM ボタン、オートフォーカスボタン、FOCUS/PUSH OTAFダイヤルも、操作の有効と無効が切り替わります。
⇒操作・設定編「各種機能の設定を行う」参照
- PT ACTIVE ボタンが点滅しているときは、スイッチャーのパラメーター制御用としてPAN/TILT レバーとZOOM ボタンを操作できます。
- メニュー操作 ([SETUP]メニュー → [SW LINK] → [P/T LEVER]項目) で「Button Select」に設定しているときは、PAN/TILT レバーとZOOM ボタンの制御用途を切り替えることができます。
⇒操作・設定編「スイッチャーとリンクしたときの機能を設定する」参照

各部の名前とはたらき

■背面部



22 POWER スイッチ [POWER]

POWER スイッチを ON にすると POWER ランプ (1) が点灯し、操作することができます。

23 TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5 端子 [TO PAN/TILT HEAD 1 ~ 5] (RJ-45)

リモートカメラをストレートケーブル (カテゴリ 5 以上) で接続してください。

24 LAN 端子 [LAN] (RJ-45) (10BASE-T/100BASE-TX)

IP 接続対応のリモートカメラ、スイッチャー、およびホストコンピュータを LAN ケーブルで接続します。

本機と機器を直接接続する場合は、クロスケーブル (カテゴリ 5 以上) を使用してください。

ハブ (スイッチングハブ) 等を経由して接続する場合は、ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上) を使用してください。

25 TALLY/GPI 入出力端子 [TALLY/GPI] (D-sub 15ピン、メス、インチねじ)

⇒操作・設定編「外部機器の制御インターフェース」参照

26 DC IN 端子 [12V IN] (DC 12 V)

付属の AC アダプターを接続します。

27 グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

28 SERVICE スイッチ [SV/NM]

メンテナンス用のスイッチです。通常は、「NM」の位置で使用してください。

29 ワイヤー取り付け金具

盗難防止のために、市販の盗難防止用ワイヤーを取り付ける金具です。

本機の基本操作

1 本機の電源を入れる

POWERスイッチをONにします。
本機に電源が供給され、POWERランプが点灯します。

- ただし、[CAMERA] → [POWER] → AUTO ON項目が「On」のときには、[SYSTEM] → CAM IP ADR項目で管理されているリモートカメラに対して自動的に電源Onを指示します。

2 リモートカメラを選択する

CAMERA STATUS/SELECTIONボタンで制御するリモートカメラを選択します。

3 リモートカメラの向きを調整する

PAN/TILTレバーでリモートカメラの向きを調整します。

4 ズームを調整する

ZOOMボタンでレンズのズームを調整します。
TELE側を押すと望遠側になり、WIDE側を押すと広角側になります。

5 レンズの絞りを調整する

IRISダイヤルで、レンズの絞りを調整します。
● 調整しているときは、LCDパネルにレベルメーターが表示されます。(レベルメーターの表示は、目安です。)



IRIS
- * - - - + - - - -

ご注意

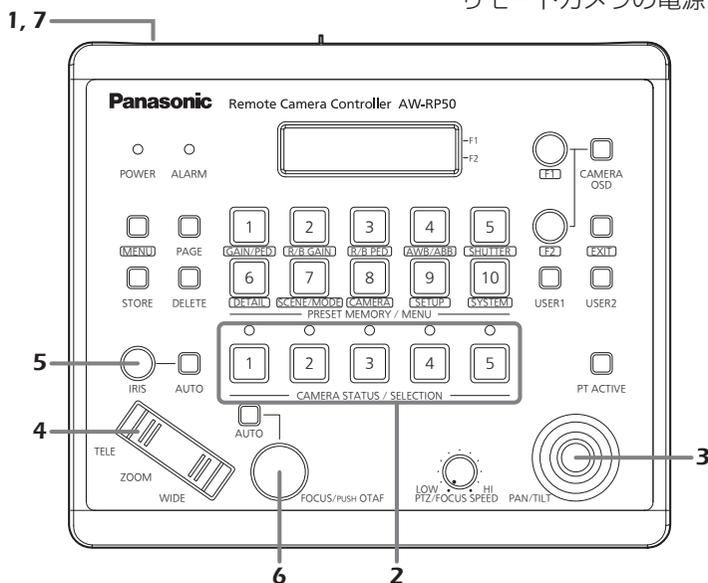
1台のリモートカメラに対して複数のAW-RP50から調整を行うと、レベルメーターが正しく表示しないことがあります。

6 フォーカス調整をする

FOCUS/PUSH OTAFダイヤルを回して、レンズのフォーカス調整を行います。
マニュアルフォーカスのときにFOCUS/PUSH OTAFダイヤルを押すと、一時的にオートフォーカスモードになり自動で焦点を合わせます。
● OTAF (ワンタッチオートフォーカス) は、OTAF機能があるリモートカメラに有効です。

7 本機の電源を切る

POWERスイッチをOFFにします。
本機の電源が切れ、POWERランプが消灯します。
● 本機の電源をOFFにしても、接続されているリモートカメラの電源はOFFされません。



詳細な操作については、操作・設定編を参照してください。

メニューの基本操作

1 MENU ボタンをONにする

MENU ボタンを押して点灯させます。

2 目的のメニューを選択する

PRESET MEMORY/MENU ボタンを押して点灯させます。

各ボタンに割り当てられたメニューについては、操作・設定編の「メニュー項目一覧」を参照してください。

選択したメニューが、LCDパネルに表示されます。

3 F1 ダイヤルとF2 ダイヤルで設定値を変更する

メニューの選択および設定値の変更は、F1 ダイヤルとF2 ダイヤルで行います。

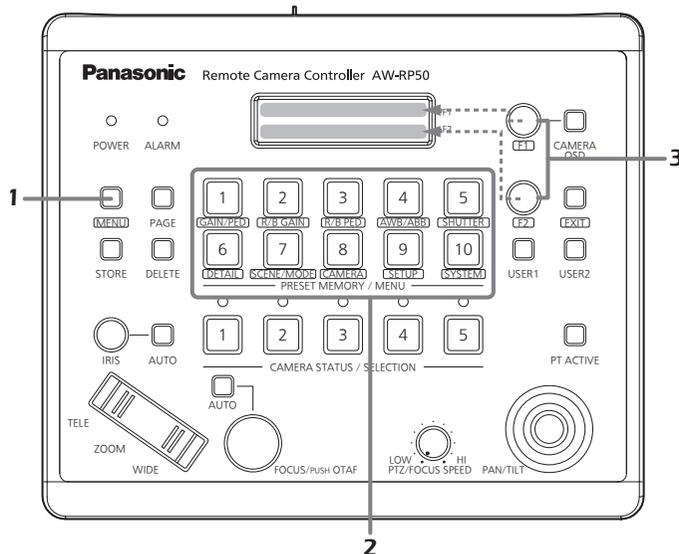
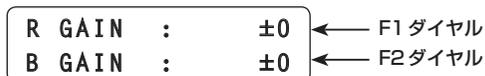
LCDパネルの上段に表示される項目は、F1 ダイヤルで操作します。

LCDパネルの下段に表示される項目は、F2 ダイヤルで操作します。

- メニューを1階層戻るときは、EXIT ボタンを押します。
- 設定項目に“↓”が表示されている場合は、F1 ダイヤルまたはF2 ダイヤルを押すことで値が確定し、設定が反映されます。



- 設定項目に“↓”が表示されていない場合は、F1 ダイヤルまたはF2 ダイヤルを回すことで値が確定し、設定が反映されます。



詳細な操作については、操作・設定編を参照してください。

ネットワークの設定を行う

本機のネットワーク情報を設定します。

ご注意

同じネットワーク内に同一のIPアドレスが存在すると、正しく動作しません。
IPアドレスが重複しないように設定してください。

■本機の設定

設定は、[SYSTEM]メニューで行います。
IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
初めに基本的なメニューの操作について説明します。

1 MENU ボタンをONにする

MENU ボタンを押して点灯させます。

2 PRESET MEMORY/MENU 10 ボタン (SYSTEM) をONにする

ボタンを押して点灯させると、LCDパネルに [SYSTEM]メニューが表示されます。

[1]CAMERA CTL ▼

3 F1 ダイヤルを回して [NETWORK] メニューを表示する

[6]NETWORK ◆

4 F1 ダイヤルを押す

1. IP ADDRESS ▼
192↓168.000.009

5 F1 ダイヤルを回して目的の設定項目を表示する

1. IP ADDRESS ▼
192↓168.000.009



2. SUBNETMASK ◆
255↓255.255.000



3. GATEWAY ◆
192↓168.000.001



4. MAC ADDRESS ▲

6 F2 ダイヤルを回して設定値を選択する

2. SUBNETMASK ◆
255↓255.255.000

7 F2 ダイヤルを押して設定を変更する

2. SUBNETMASK ◆
255.255↓255.000

MACアドレス以外は、4ブロックに分けて入力を行います。

最終ブロックまで進み、F2ダイヤルを押すことでIPアドレスが確定します。

2. SUBNETMASK ◆
255.255.255.000↓

- MACアドレスは、表示されるだけでアドレスの変更はできません。

ご注意

設定を有効にするためには、再起動が必要です。
本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

ネットワークの設定を行う

IPアドレスの設定

[SYSTEM]メニュー → [NETWORK] → [IP ADDRESS]を表示し、F2ダイヤルを操作して設定します。

他の機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。

1. IP ADDRESS ▼
192↓168.000.009

IPアドレスが重複している場合は、「IP Duplicate!」がLCDパネルに表示されます。

1. IP ADDRESS ▼
IP Duplicate!

IPアドレスが間違っている場合は、下記のメッセージが表示されます。

Unavailable
network setting

ご注意

- 設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。
- IPアドレスは、ネットワーク管理者とご相談のうえ設定してください。

サブネットマスクの設定

[SYSTEM]メニュー → [NETWORK] → [SUBNETMASK]を表示し、F2ダイヤルを操作して設定します。

2. SUBNETMASK ◆
255↓255.255.000

サブネットマスクが間違っている場合は、下記のメッセージが表示されます。

Unavailable
network setting

ご注意

設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

デフォルトゲートウェイの設定

[SYSTEM]メニュー → [NETWORK] → [GATEWAY]を表示し、F2ダイヤルを操作して設定します。

3. GATEWAY ◆
192↓168.000.001

デフォルトゲートウェイが間違っている場合は、下記のメッセージが表示されます。

Unavailable
network setting

ご注意

設定を有効にするためには、再起動が必要です。本機の電源を切り、再度、電源を入れ直してください。

ポート番号の設定

リモートカメラのポート番号を設定します。

[SYSTEM]メニュー → [CAM PORT] → [PORT:CAM1 ~ 100]を表示し、F2ダイヤルを操作して設定します。

1. PORT:CAM1 ▼
80↓

MACアドレスの表示

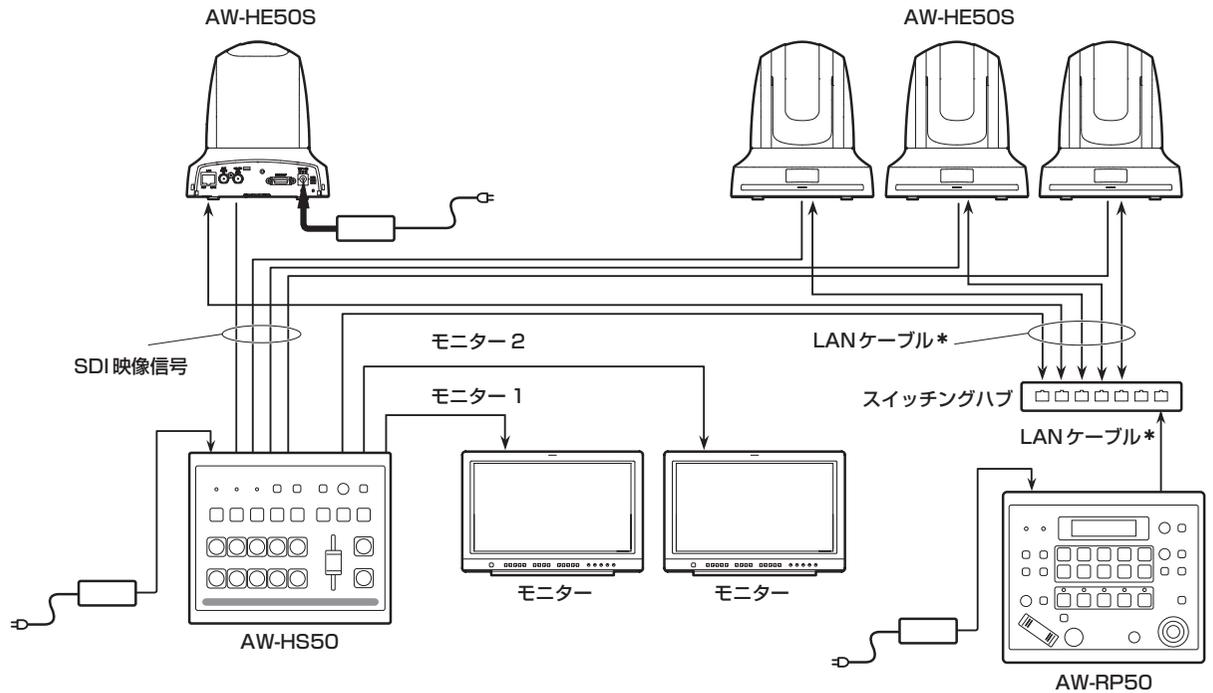
[SYSTEM]メニュー → [NETWORK] → [MAC ADDRESS]を表示します。

4. MAC ADDRESS ▲

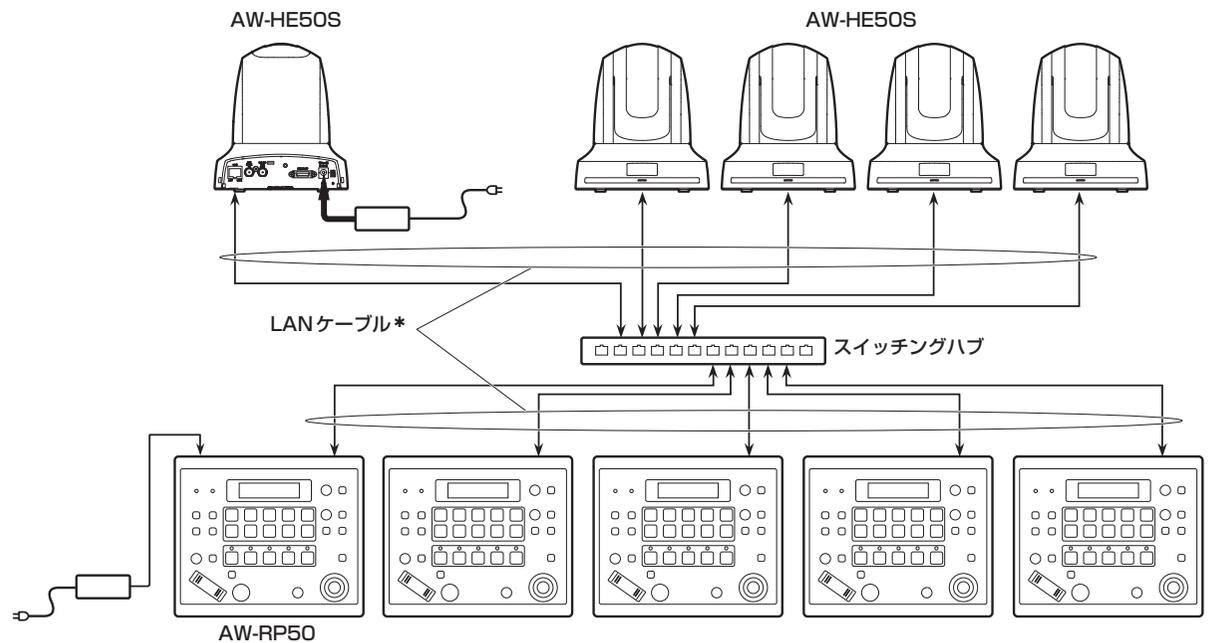
接 続

■ IP 接続例

● AW-HE50、および AW-HS50 との接続



● 複数台の本機と AW-HE50 との接続

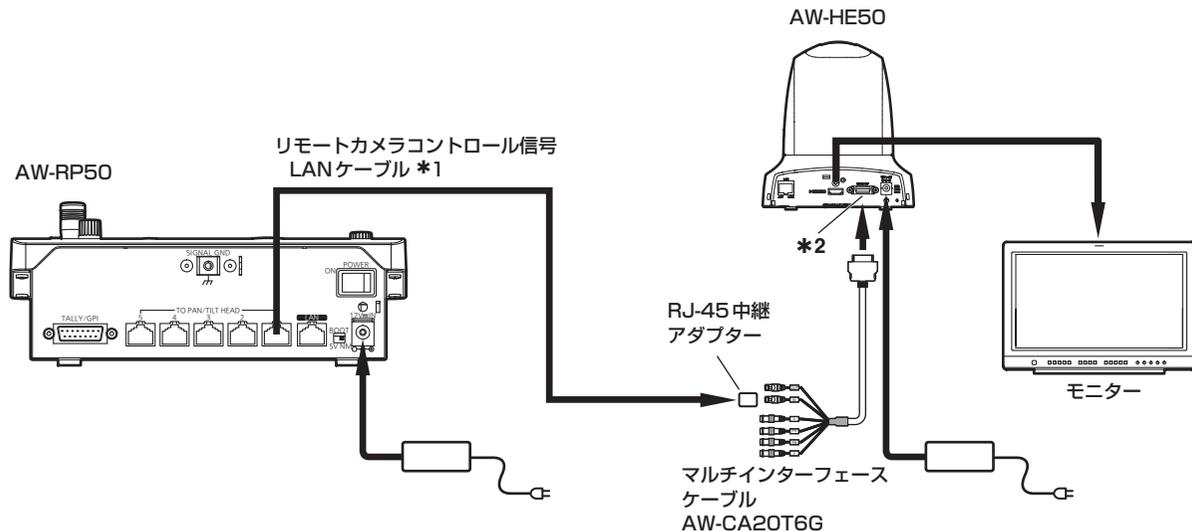


*: ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上) を使用してください。

接 続

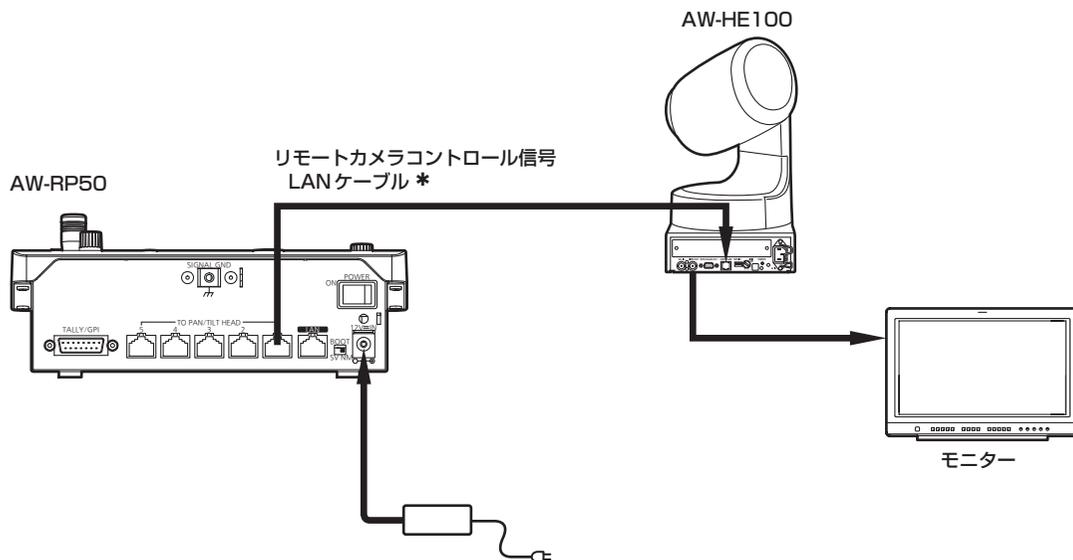
■ シリアル接続例

● AW-HE50 との接続



- *1 : ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。
- *2 : AW-HE50 とシリアル接続する場合は、マルチインターフェースケーブル (AW-CA20T6G) が必要です。

● AW-HE100 との接続



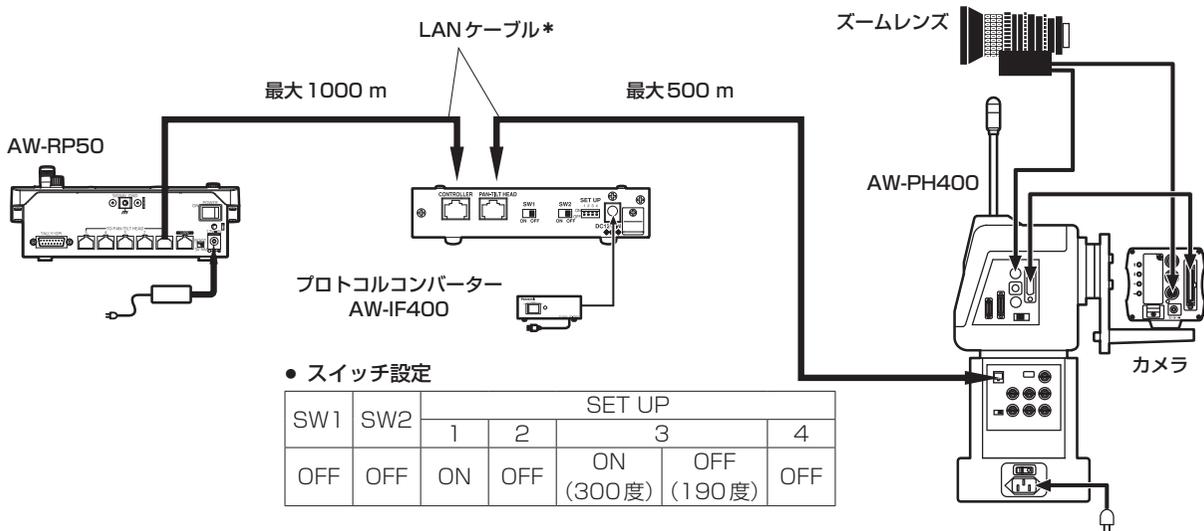
- * : ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上) を使用してください。

接 続

●AW-PH400、およびカメラとの接続

カメラ：

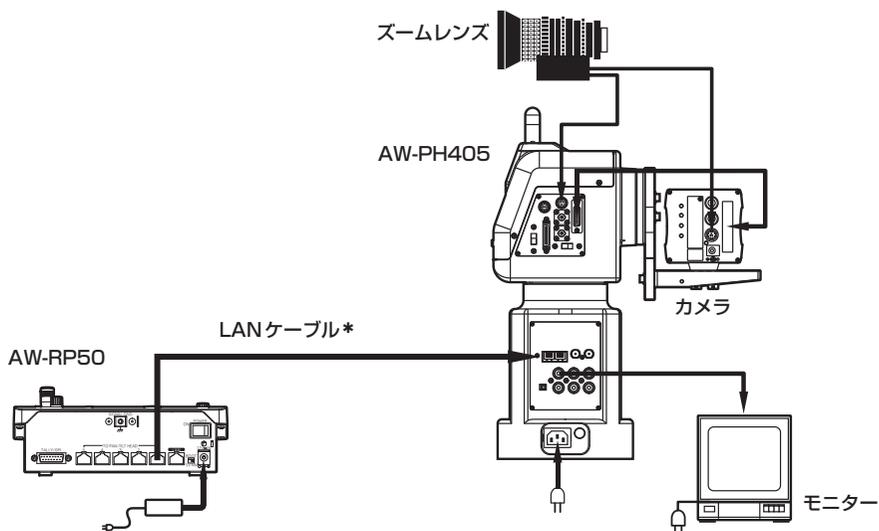
AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800のいずれか



●AW-PH405、およびカメラとの接続

カメラ：

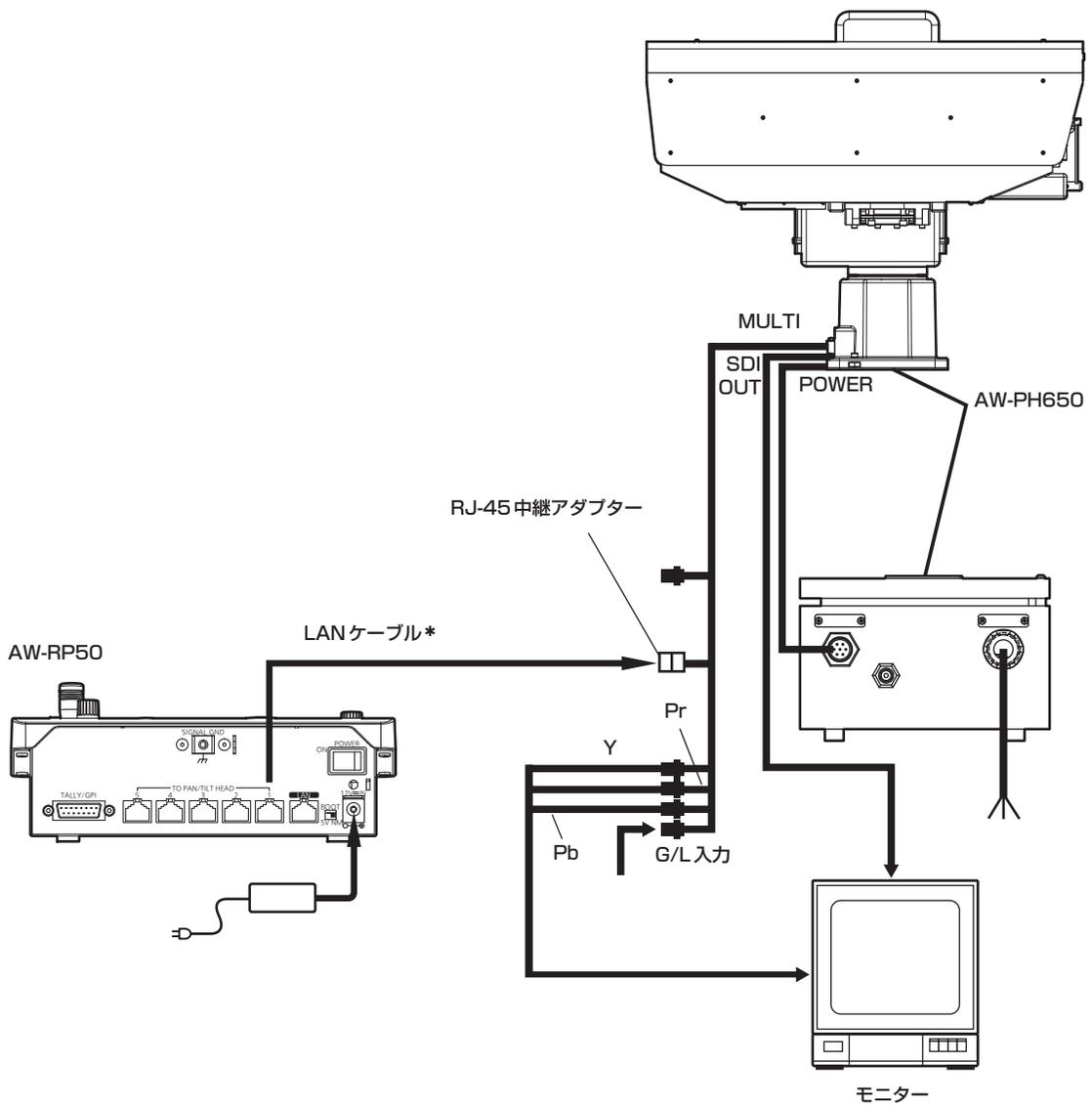
AW-HE870、AW-E860、AW-E750、AW-E650、AW-E350、AK-HC1500、AK-HC1800のいずれか



*：ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上) を使用してください。

接 続

●AW-PH650との接続



*: ストレートケーブル (カテゴリ 5 以上) を使用してください。

接 続

接続の設定には、「リモートカメラとの接続設定」と、「スイッチャーとの接続設定」があります。

「リモートカメラとの接続設定」には、2つの方法があります。

- 本機で設定する方法
(下記の項目を参照してください)
⇒ 「リモートカメラとの接続設定」
⇒ 「自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定)」
⇒ 「本機が管理しているカメラ番号のIPアドレスを変更する」
⇒ 「カメラ番号を変更する」
- 「Setup Software」を使って設定する方法
⇒ 操作・設定編「セットアップソフトウェア」参照
「Setup Software」は、以下のWebサイトからダウンロードして入手することができます。
日本語： <https://panasonic.biz/cns/sav/>
英語： <https://pro-av.panasonic.net/>

「スイッチャーとの接続設定」は、本機で設定します。
⇒ 操作・設定編「スイッチャーとのリンクを設定する」参照

また、同一ネットワーク上にある複数台 (最大5台まで) のAW-RP50の間で、リモートカメラとの接続設定情報を共有する場合には、Webサイトからダウンロードする「Setup Software」を使って操作します。

⇒ 操作・設定編「セットアップソフトウェア」の「データの保存と読み込み」を参照

ご注意

- リモートカメラは、出荷時にすべて同じIPアドレスに設定されています。
複数台のリモートカメラを出荷状態のまま接続して本機から操作しても、リモートカメラは正しく動作しません。
リモートカメラのIPアドレスが重複しないように設定してから操作してください。
- リモートカメラを交換するときなど、同じIPアドレスに設定された別のリモートカメラを接続する場合は、本機の電源を切ってから接続してください。
本機の電源を切らずに接続した場合は、リモートカメラが正しく動作しないことがあります。

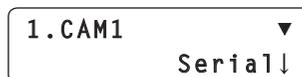
■ リモートカメラとの接続設定

カメラ番号CAM1～CAM100に対して、本機とリモートカメラの接続を、シリアル接続[Serial]にするか、IP接続[Network]にするかを設定します。
[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1～100]を表示して、カメラ番号に対して設定を行います。

- Serial : シリアル接続
- Network : IP接続
- NoAssign : 設定なし (初期設定)

● シリアル接続する

対象のカメラ番号を「Serial」に設定します。

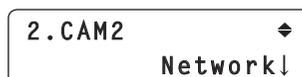


カメラ番号CAM1～CAM5は、背面のTO PAN/TILT HEAD端子の[1]～[5]に対応しています。

- カメラ番号CAM6～CAM100にシリアル接続「Serial」の設定はできません。

● IP接続する

対象のカメラ番号を「Network」に設定します。



[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [IP:CAM1～100]を表示して、カメラ番号に対応するIPアドレスで接続します。

ご注意

「自動IP設定」を行う場合は、対象のカメラ番号を「NoAssign」に設定してください。

接 続

■カメラのダイレクト接続制御

- この機能は、AK-HC1500、AK-HC1800、AW-HE870のカメラで動作します。

回転台を介さずに本機とカメラをシリアル接続し、カメラを制御することができます。

1 [SYSTEM]メニューを開き、F1ダイヤルを回して対象のカメラ番号 [CAM1] ~ [CAM5] を表示する

2 F2ダイヤルを回して [CAM_Direct] を選択し、F2ダイヤルを押して確定する



カメラ番号CAM1 ~ CAM5に対して、カメラの制御をダイレクト制御 [CAM_Direct] に設定することができます。

カメラ番号CAM1 ~ CAM5は、背面のTO PAN/TILT HEAD 端子の [1] ~ [5] に対応しています。

- 付属のSetup SoftwareのTYPE項目でも設定することができます。

ご注意

カメラ番号CAM6 ~ CAM100にダイレクト制御 [CAM_Direct] を設定することはできません。

■自動でIPアドレスを設定する (自動IP設定)

「自動IP設定」を行うと、同じサブネット内に接続されているリモートカメラとスイッチャーに対して、IPアドレスを自動で設定します。

リモートカメラは100台まで、スイッチャーは1台にIPアドレスを設定することができます。

[リモートカメラの設定]

本機は、検出したリモートカメラに対して接続設定で「NoAssign」に設定されているカメラ番号との関連付けを行い、IPアドレスをリモートカメラに設定します。

接続設定：

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目

IPアドレスの設定と変更：

[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [CAM1 ~ 100]項目

例：

- ① リモートカメラ A、B、C を検出
- ② [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 3]項目が全て「NoAssign」
- ③ [CAM IP ADR] → [CAM1 ~ 3]項目のIPアドレスが、192.168.000.010 ~ 192.168.000.012

上記の場合、リモートカメラのIPアドレスは以下のように設定されます。

リモートカメラA：192.168.000.010
リモートカメラB：192.168.000.011
リモートカメラC：192.168.000.012

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびポート番号の設定は、本機と同一のものが設定されます。
- 一度、「自動IP設定」で設定されたカメラ番号は、該当のカメラ番号の接続設定が「Network」になります。

次に「自動IP設定」を行う際には、該当のカメラ番号が「自動IP設定」の対象から除かれます。ただし、「自動IP設定」で設定されたカメラ番号のIPアドレスを変更したり、接続設定を「NoAssign」、または「Serial」に変更した場合は、再度「自動IP設定」の対象になります。

接 続

- 検出したリモートカメラのIPアドレスがカメラ番号（接続設定が「Serial」以外のカメラ番号）に設定されているIPアドレスと一致している場合は、そのままリモートカメラのIPアドレスとして設定されます。
一度設定されたリモートカメラのIPアドレスが変更されて、カメラ番号に設定されているIPアドレスと異なる場合、カメラ番号のIPアドレスがリモートカメラに再度設定されます。
- AW-HE50に設定されるIPアドレスは、「自動IP設定」の操作を行うAW-RP50の次の値（IPアドレス）から設定されます。

[スイッチャーの設定]

[SYSTEM]メニュー → [SW IP ADR] → [IP:SW]項目に設定されているIPアドレスが、スイッチャーに設定されます。

ご注意

- 同一サブネット内にリモートカメラやスイッチャー以外の機器が接続されていると、IPアドレスが重複する場合があります。
同一サブネット内には「自動IP設定」の対象機器以外、接続しないでください。
- 本機と同じIPアドレスのリモートカメラが存在した場合、そのリモートカメラのIPアドレスを「自動IP設定」で設定することができません。
- 同一サブネット内に複数のAW-RP50が接続されているときに、それぞれのAW-RP50で同時に「自動IP設定」の操作を行わないでください。
- 本機側の操作で「自動IP設定」を行っているときは、ホストコンピューター側で「Setup Software」（Webサイトからダウンロード）を同時に使用しないでください。
また、AW-HE50に付属されている“IP簡単設定ソフトウェア”も同時に使用しないでください。
正しく設定されないことがあります。

● はじめて設定する場合

リモートカメラ、スイッチャーおよび本機が工場出荷の状態から設定を行います。

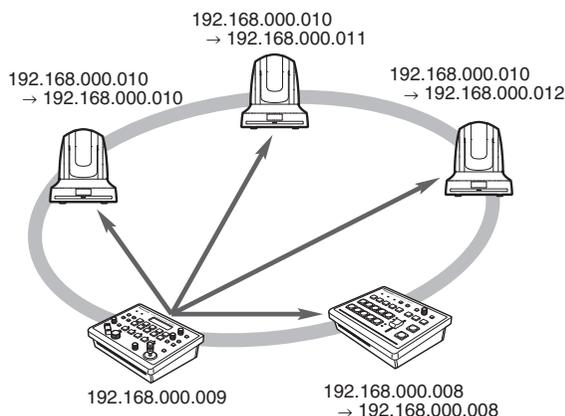
ご注意

設定する前に、リモートカメラの接続設定が「NoAssign」になっていることを確認してください。

接続設定：

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ CAM100]項目

1 リモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する



2 [SYSTEM]メニュー → [AUTO SET IP] → [AUTO SETUP]を表示し、「RENEW IP ADR」を選択してF2ダイヤルを押す

1. AUTO SETUP
RENEW IP ADR↓

現在本機が管理している台数（すべてのリモートカメラとスイッチャー）と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。

C: 003/003 S: 1/1
YES↓

C: 003/003

現在本機が管理している台数 + 新たに検出した台数

新たに検出した台数

C: リモートカメラ、S: スイッチャー

接 続

メモ

- 新たに検出した台数が登録可能な数（リモートカメラ：100台、スイッチャー：1台）を超えた場合は、LCDパネルの下段に[C/S OVER!]を表示します。

この状態でも自動IP設定を行えますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。

C:020/100 S:1/1
C/S OVER! YES↓

- 複数のリモートカメラが同時に起動されたときなど、本機側で全てのリモートカメラを検出できないことがあります。

この場合、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。

追加対象機器を更新することができます。

- リモートカメラやスイッチャーの電源が入っていなかったなどの原因で、「新たに検出した台数」の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。

追加対象機器を更新することができます。

C:020/020 S:1/1
RETRY↓

3 F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「・」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

AUTO SETUP
.....

すべて正常に終了すると、「COMPLETE!」が表示されます。

AUTO SETUP
COMPLETE!

リモートカメラとスイッチャーが自動でリポートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。リモートカメラは、本機から操作可能となります。

スイッチャーは、本機との連携機能が可能となります。

メモ

IPアドレスの設定に失敗した場合は、「SET UP ERR!」が表示されます。

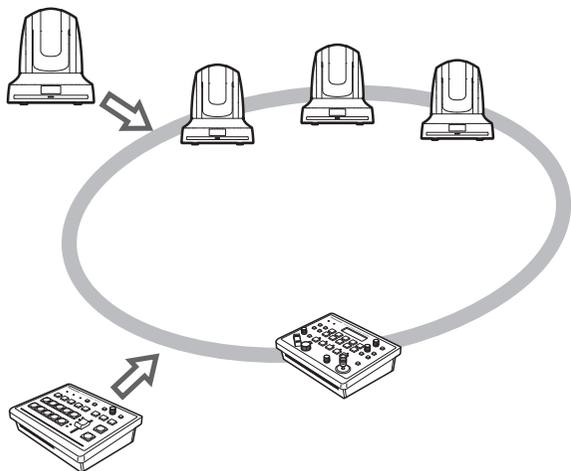
AUTO SETUP
SET UP ERR!

ネットワークの障害による原因が考えられます。ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

接 続

●すでに運用している環境にリモートカメラやスイッチャーを追加導入する場合

すでにIP接続で運用している環境にリモートカメラやスイッチャーを追加導入する場合も、「自動IP設定」によって簡単に設定ができます。



追加導入する機器（リモートカメラ、スイッチャー）のIPアドレスを設定するには、2つの方法があります。

1. 本機からIPアドレスを設定する
2. リモートカメラ、スイッチャーのIPアドレスに本機のIPアドレスを合わせる

それぞれの操作について説明します。

■本機からIPアドレスを設定する

[リモートカメラの設定]

本機は、検出したリモートカメラに対して接続設定で「NoAssign」に設定されているカメラ番号との関連付けを行い、IPアドレスをリモートカメラに設定します。

接続設定：

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目

IPアドレスの設定と変更：

[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [CAM1 ~ 100]項目

例：

- ① 3台のリモートカメラで運用している
- ② 新たに1台のリモートカメラを追加導入する（リモートカメラDとします）
- ③ リモートカメラDを検出させる
- ④ [CAMERA CTL] → [CAM4]項目が「NoAssign」
- ⑤ [CAM IP ADR] → [CAM4]項目のIPアドレスが、192.168.000.013

上記の場合、リモートカメラDのカメラ番号の割り当てはCAM4となり、IPアドレスは以下のように設定されます。

リモートカメラD：192.168.000.013

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびポート番号の設定は、本機と同一のものが設定されます。

[スイッチャーの設定]

[SYSTEM]メニュー → [SW IP ADR] → [IP:SW]項目に設定されているIPアドレスが、スイッチャーに設定されます。

接 続

1 追加導入するリモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2 [SYSTEM]メニュー → [AUTO SET IP] → [AUTO SETUP]を表示し、「RENEW IP ADR」を選択してF2ダイヤルを押す

1. AUTO SETUP
RENEW IP ADR↓

現在本機が管理している台数（すべてのリモートカメラとスイッチャー）と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。

C:001/004 S:0/1
YES↓

C:001/004

↑
現在本機が管理している台数 + 新たに検出した台数

↑
新たに検出した台数

C: リモートカメラ、S: スイッチャー

メモ

- 新たに検出した台数が登録可能な数（リモートカメラ：100台、スイッチャー：1台）を超えた場合は、LCDパネルの下段に[C/S OVER!]を表示します。
この状態でも自動IP設定を行えますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。

C:020/100 S:1/1
C/S OVER! YES↓

- リモートカメラやスイッチャーの電源が入っていなかったなどの原因で、「新たに検出した台数」の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。
追加対象機器を更新することができます。

C:020/020 S:1/1
RETRY↓

3 F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「・」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

AUTO SETUP
.....

すべて正常に終了すると、「COMPLETE!」が表示されます。

AUTO SETUP
COMPLETE!

リモートカメラとスイッチャーが自動でリポートし、新しく設定したIPアドレスで起動します。リモートカメラは、本機から操作可能となります。スイッチャーは、本機との連携機能が可能となります。

メモ

IPアドレスの設定に失敗した場合は、「SET UP ERR!」が表示されます。

AUTO SETUP
SET UP ERR!

ネットワークの障害による原因が考えられます。ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

接 続

リモートカメラ、スイッチャーのIPアドレスに本機のIPアドレスを合わせる

[リモートカメラの設定]

本機は、検出したリモートカメラに対して接続設定で「NoAssign」に設定されているカメラ番号との関連付けを行い、IPアドレスをリモートカメラに設定します。

接続設定：

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目

IPアドレスの設定と変更：

[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [CAM1 ~ 100]項目

例：

- ① 3台のリモートカメラで運用している
- ② 新たに、IPアドレスが「192.168.000.020」のリモートカメラ1台を追加導入（リモートカメラEとします）
- ③ リモートカメラEを検出させる
- ④ [CAMERA CTL] → [CAM4]項目が「NoAssign」

上記の場合、[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [CAM4]項目のIPアドレスが「192.168.000.020」に設定されます。

- サブネットマスク、デフォルトゲートウェイおよびポート番号の設定は、本機と同一のものが設定されます。

[スイッチャーの設定]

[SYSTEM]メニュー → [SW IP ADR] → [IP:SW]項目に、スイッチャー側のIPアドレスが設定されます。

ご注意

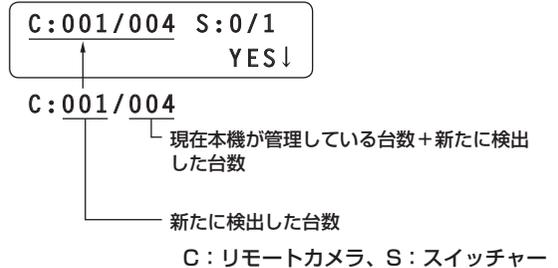
本機とリモートカメラのサブネットマスクが異なると、ネットワークを使つての操作ができなくなります。

1 追加導入するリモートカメラ、スイッチャー、本機を同一サブネット内のネットワークに接続する

2 [SYSTEM]メニュー → [AUTO SET IP] → [AUTO SETUP]を表示し、「KEEP IP ADR」を選択してF2ダイヤルを押す

1.AUTO SETUP
KEEP IP ADR↓

現在本機が管理している台数（すべてのリモートカメラとスイッチャー）と新たに検出した台数がLCDパネルに表示されます。



メモ

- 新たに検出した台数が登録可能な数（リモートカメラ：100台、スイッチャー：1台）を超えた場合は、LCDパネルの下段に「C/S OVER!」を表示します。
この状態でも自動IP設定を行えますが、登録可能な台数分しかIPアドレスを設定しません。

C:020/100 S:1/1
C/S OVER! YES↓

- リモートカメラやスイッチャーの電源が入っていなかったなどの原因で、「新たに検出した台数」の表示が実際に設定する台数に足りなかった場合は、原因を取り除いたあと、「RETRY」を選択し、F2ダイヤルを押して再度実行してください。
追加対象機器を更新することができます。

C:020/020 S:1/1
RETRY↓

接 続

3 F2ダイヤルを回して「Yes」を選択し、F2ダイヤルを押す

「自動IP設定」を開始します。

「自動IP設定」を行っているときは、「・」の数が減ることで、進行の経過を表示します。

AUTO SETUP
.....

すべて正常に終了すると、「COMPLETE!」が表示されます。

AUTO SETUP
COMPLETE!

リモートカメラは、本機から操作可能となります。

スイッチャーは、本機との連携機能が可能となります。

メモ

- 運用中の機器のIPアドレスと追加導入するリモートカメラのIPアドレスが重複している場合は、「IP Duplication!」が表示されます。IPアドレスが重複するリモートカメラは、設定されません。

AUTO SETUP
IP Duplication!

IPアドレスを確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

- IPアドレスの設定に失敗した場合は、「SET UP ERR!」が表示されます。

AUTO SETUP
SET UP ERR!

ネットワークの障害による原因が考えられます。ハブやLANケーブルの接続状態を確認し、再度「自動IP設定」を行ってください。

接 続

■本機が管理しているカメラ番号のIPアドレスを変更する

「自動IP設定」でIPアドレスを設定することができないリモートカメラを接続（ルーターを経由して接続）する場合に使用します。

●IPアドレスの設定

[SYSTEM]メニュー → [CAM IP ADR] → [IP:CAM1 ~ 100]を表示して、カメラ番号のIPアドレスを変更することができます。

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目が「NoAssign」、「Serial」であっても、IPアドレスは変更することができます。

1. IP:CAM1 ▼
192.168.000.100↓

IPアドレスは、すべてのカメラ番号[CAM1 ~ 100]に設定されています。

初期値：

CAM1 (192.168.000.010)



CAM100 (192.168.000.109)

✎メモ✎

本機のIPアドレスを [SYSTEM]メニュー → [NETWORK] → [IP ADDRESS]項目で変更した場合、[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目で、「NoAssign」に設定されているカメラ番号のIPアドレスは、「NoAssign」に設定されているカメラ番号の若い順に、本機のIPアドレスより以降のIPアドレスを自動で再設定します。

IPアドレスを変更すると、IPアドレスの重複チェックを行います。

[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目で、「Network」に設定されているカメラ番号のIPアドレスと重複しているかチェックを行います。

重複している場合は、「IP Duplicate!」を3秒間表示し、設定します。

1. IP:CAM1
IP Duplicate!

ご注意

- この操作で設定されたIPアドレスは、本機が管理しているカメラ番号のIPアドレスです。リモートカメラのIPアドレスは変更されません。
- 「自動IP設定」でIPアドレスが重複した場合は、「IP Duplication!」が表示され、設定されませんが、この操作では設定されます。

接 続

■カメラ番号を変更する

「自動IP設定」で設定されたカメラ番号を変更します。

現在のカメラ番号のIPアドレスと、変更したいカメラ番号のIPアドレスとを入れ替えることで、カメラ番号を変更します。

1 [SYSTEM]メニュー → [CAM ASSIGN] → [CAM1 ~ 100]を表示し、変更したいカメラ番号を選択する

2 選択したカメラ番号に、リモートカメラのIPアドレスを選択する

選択したIPアドレスに該当するリモートカメラのタリランプが点灯します。

PAN/TILTレバーを操作して、カメラ番号を変更したいカメラが動作しているか確認してください。

選択できるIPアドレスは、[SYSTEM]メニュー → [CAMERA CTL] → [CAM1 ~ 100]項目で、「Network」に設定されているカメラ番号のIPアドレスです。

3 F2ダイヤルを押してIPアドレスを確定する

変更先のカメラ番号と変更元のカメラ番号のIPアドレスが入れ替わります。

1. CAM1 ▼
192.168.000.100↓

ご注意

[SYSTEM]メニュー → [CAM ASSIGN] → [CAM1 ~ 100]項目で、「ASSIGN」を表示しているときは、CAMERA STATUS/SELECTION ボタンの操作とカメラ制御 (IRIS / FOCUS / PT / ZOOM / CAMERA OSD) ができません。

■スイッチャーのIPアドレスを変更する

「自動IP設定」で設定されたスイッチャーのIPアドレスを変更します。

1 [SYSTEM]メニュー → [SW IP ADR] → [IP:SW]を表示し、IPアドレスを変更する

■IPアドレスの管理テーブルを削除する

設定されているIPアドレス管理テーブルを一括で削除します。

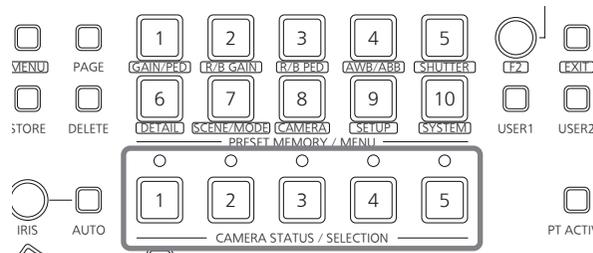
1 [SYSTEM]メニュー → [AUTO SET IP] → [AUTO SETUP]を表示して [ALL CLEAR]を選択し、F2ダイヤルを押して実行する

1. AUTO SETUP
ALL CLEAR↓

- 「Serial」の設定は、削除されません。

操作するリモートカメラを選択する

CAMERA STATUS/SELECTION ボタンで5台まで操作するリモートカメラを選択することができます。CAMERA STATUS/SELECTION ボタンの1～5を押すと、押したボタンが点灯します。CAMERA STATUS/SELECTION ボタンの1～5に割り当てられたリモートカメラの状態は、ボタン上部のランプの点灯状態で判断できます。



ランプの点灯状態とリモートカメラの状態

ランプの点灯状態	リモートカメラの状態	本機とリモートカメラの接続
消灯	<ul style="list-style-type: none"> 該当するボタンにリモートカメラが割り付けられていない。(リモートカメラの接続設定が「NoAssign」になっている。) リモートカメラの電源が入っていない。(*1、*2) 	IP 接続 / シリアル接続
点灯 (*3) (オレンジ色)	リモートカメラがスタンバイ状態。(*1)	IP 接続 / シリアル接続
点滅 (オレンジ色)	該当するリモートカメラに、本機以外のAW-RP50がすでに5台接続されているため、本機が接続できない。	IP 接続
点灯 (緑色)	リモートカメラと接続中。	IP 接続 / シリアル接続
点滅 (緑色)	該当するリモートカメラが、本機以外のAW-RP50とも接続されている。	IP 接続
点灯 (赤色)	該当するリモートカメラの映像がオンエア中。(ネットワーク経由、またはGPI入力でOAタリーを受信。)	IP 接続 / シリアル接続
点滅 (赤色)	該当するリモートカメラが他のAW-RP50と接続している状態で、そのリモートカメラの映像がオンエア中。	IP 接続

*1： 操作・設定編の「リモートカメラの電源の入れかたと切りかた」に従って電源を入れてください。

*2： プロトコルコンバーター (AW-IF400) を経由してAW-PH400を接続している場合、LANケーブルを抜き差ししたときもランプが“消灯”の状態になります。

操作・設定編の「リモートカメラの電源の入れかたと切りかた」に従って電源を入れなおしてください。

*3： プロトコルコンバーター (AW-IF400) を経由してAW-PH400を接続している場合は、“消灯”になります。

また本機は、100台までのリモートカメラをメニュー操作により1～20グループに分けて制御することが可能です。選択方法は次のとおりです。

1 MENU ボタンをONにする

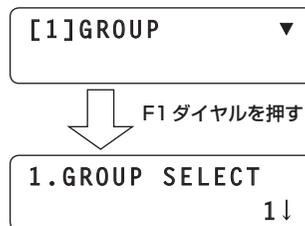
MENU ボタンを押して点灯させます。

2 PRESET MEMORY/MENU 8 ボタン (CAMERA) をONにする

ボタンを押して点灯させると、LCDパネルに[CAMERA]メニューが表示されます。

3 F1 ダイヤルを押す

GROUP SELECT 項目が表示されます。

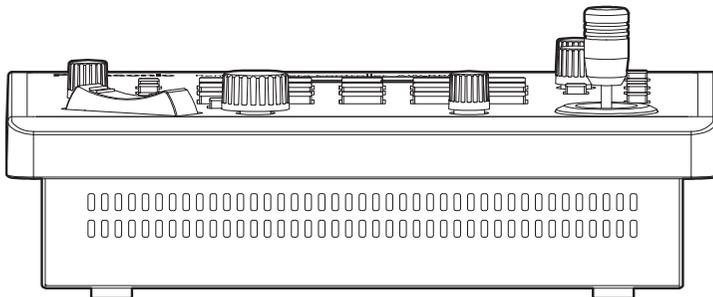
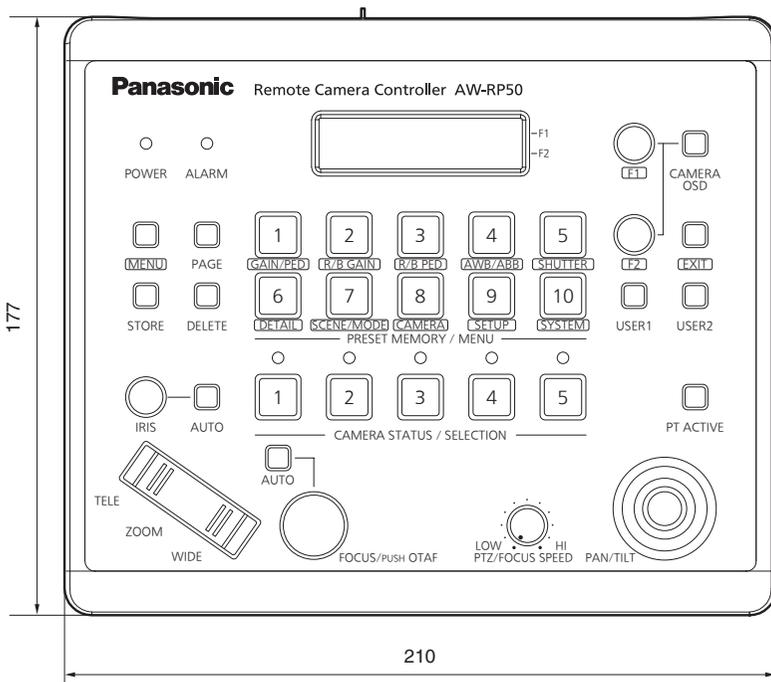
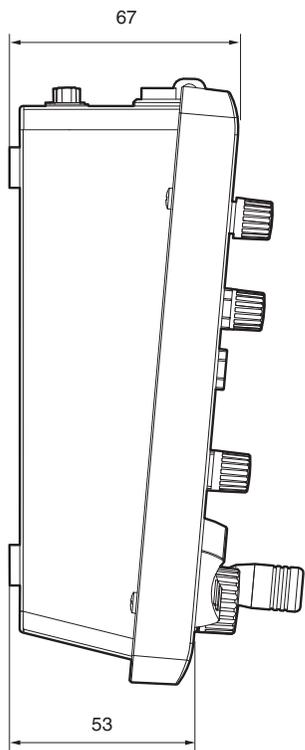
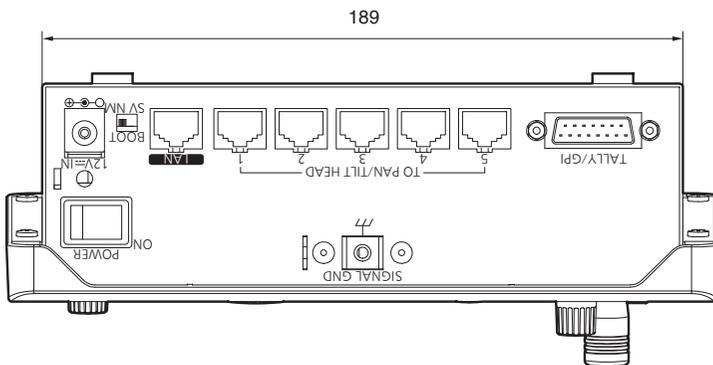


4 F2 ダイヤルを回してグループを選択し、F2 ダイヤルを押す

ここで選択したグループに割り付けられたリモートカメラが、CAMERA STATUS/SELECTION ボタンで選択できます。

外形寸法図

単位：mm



定 格

電源電圧：DC \equiv 12 V \pm 10 %
(ACアダプター添付)
消費電流：0.5 A (DC \equiv 12 V)

 は安全項目です。

■総合

動作周囲温度：0℃～40℃
許容湿度：10%～90% (結露なきこと)
質量：約1.1 kg
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)
：210 mm × 67 mm × 177 mm
(突起部を除く)

■入出力端子

LAN (RJ-45)：

10BASE-T/100BASE-TX

接続ケーブル：LANケーブル、最大100 m

- スイッチングハブを経由して接続する場合：
ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上)、
STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを
推奨
- 機器を直接接続する場合：
クロスケーブル (カテゴリー 5 以上)、
STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを
推奨

TO PAN/TILT HEAD (RJ-45)：

RS422 (リモートカメラ用制御信号)

接続ケーブル：

ストレートケーブル (カテゴリー 5 以上)、
最大1000 m

TALLY/GPI (D-sub 15ピン、メス、インチねじ)：

TALLY IN：

5入力、フォトカプラー受け

GPI IN：

4入力、フォトカプラー受け

GPI OUT：

4出力、オープンコレクター出力 (負論理)

■ACアダプター

入力：AC \sim 100 V – 240 V、1.2 A
50 Hz/60 Hz
出力：DC \equiv 12 V、3.0 A

付属の電源コードは、定格がAC \sim 125 V以下
です。
AC \sim 100 V – 120 Vで使用してください。

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示して
います。

\sim AC (交流)
 \equiv DC (直流)

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、
お買い上げの販売店からお受け取りください。よ
くお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このリモートカメラコントローラーの補
修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有してい
ます。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維
持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へ
ご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	リモートカメラコントローラー
品番	AW-RP50
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていた
だきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望
により修理させていただきます。下記修理料金
の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構
成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品
交換・調整・修理完了時の点検な
どの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材
料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある
場所へ技術者を派遣する場合の費
用です。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス雲（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付けに要する実費

5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

リモートカメラコントローラー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には
(無料修理規定)の記載内容で無料修理を行うことをお約束す
るものです。ご記入いただきました個人情報利用目的は〈無
料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関する
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細
は〈無料修理規定〉をご参照ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL (06) 6901-1161

品番	AW-RP50
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お住所	様
お客様お名前	様
電話	() —
住所・販売店名	
※販売店	
電話	() —

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しいください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2016